

歴史に寄り添う
まちづくり

伝建群だより

～感性育み 未来織りなす
粋なまち 桐生～

編集・発行
桐生市産業経済部 日本遺産活用室
電話 0277-46-1111(内線 346、347)
伝建まちなか交流館
電話 0277-22-1122
令和4年7月1日発行 No.70

今年の夏も暑くなりそうです。皆様には時節柄、熱中症対策、新型コロナウイルス感染予防を含め、体調管理には十分お気をつけください。



「伝統的建造物、2年かけて直します。」

(仮称)重伝建地区公開活用施設整備事業

令和6年度の開館に向けて、建物と敷地内の工事を行います。伝統的建造物の保存修理は改修工事や新築工事とは違い、既存建物の一つ一つの部材をなるべく残しながらの修理となります。この工事は、下記の工事内容及び裏面の修理ポイントに沿って行うため、2年かけて実施するものです。

1年目の主な工事内容

- 柱や梁等の傷んだ部分の修理
- 建物の傾きを戻す修理
- 土壁の下地(荒壁)を作る左官工事
- 耐震補強工事
- 屋根工事



→修理前の屋根と柱の状況



2年目の主な工事内容

- 漆喰等の仕上げの左官工事
- 建具の修理
- 内装工事
- 外構工事
- 設備工事



裏面へ続く

↑ ↗ ↘修理前の内部・外観の様子

【建物修理のポイント(手間と時間がかかります)】

- ・土壁については、下塗り(土)をした後に、十分乾燥させ、中塗り(土・砂漆喰)、仕上げ(漆喰)に入ります。
- ・建物に応急的に取り付けられているトタン板や合板を取り除き、痕跡(建具や庇の取り付け跡)や部材の損傷状況を確認しながら修理をします。
- ・建物が文化財のため、文化庁、県の文化財保護課や専門家に状況により相談し、会議に諮りながら修理をします。

工事期間中は、工事車両の出入りや騒音等の発生により、ご迷惑をおかけいたしますが、みなさまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本遺産関係

☆七夕企画「絹に願いを！」



～「シルクロードが紡ぐ世界遺産の街・日本遺産の街
桐生市 富岡市 八王子市」～が開催されます！☆

明治時代、日本の近代化を支えてきた絹産業で栄えた街々から、横浜港へのルートは「日本のシルクロード」と呼ばれて来ました。「絹に願いを！」では、絹産業遺産群で世界遺産、日本遺産となった富岡市、桐生市、八王子市の3市が連携することで、どのように地域の活性化や人材育成に活かせるのかを語り合います。

内 容:トークセッション及びスペシャルミニライブ

日 時:令和4年7月9日(土)14:00～16:30(開場13:30)

場 所:桐生市 有鄰館 煉瓦蔵

定 員:100名

形 式:現地参加とzoom参加のハイブリット開催

参加費:無料(申込要)

お申込み:<https://bit.ly/3ITivGA>(Googleフォーム)

お問い合わせ:080-3572-9025(担当:長野)

omotenashi.i.c@gmail.com

主 催:NPO法人おもてなし国際協議会

後 援:桐生市 富岡市 八王子市



<URL><https://omotenashi.tokyo.jp/2873/>(外部リンク)